

保護者様

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について

三木市教育委員会

令和3年5月27日に、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に行われた調査について、本市の結果をお知らせいたします。

この調査で測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一部ではありますが、教育委員会としては、この結果を真摯に受け止め、学力向上をめざして、様々な取組を進めていきたいと考えております。

保護者の皆様におかれましては、未来を担う子どもたちに生き抜く力を育てるため、学校と一体となって確かな学力の向上に取り組んでいただきますようお願いいたします。

正答率から見る全国平均との比較

	教科	令和3年度平均正答率		
		三木市	全国	比較
小学校	国語	61	65	-4
	算数	68	70	-2
中学校	国語	64	65	-1
	数学	58	57	+1

- 小・中学校ともに、どの教科も±5%の範囲内にある。
- 小学校は算数・国語、中学校では国語が全国平均に達しておらず、学力面や学習習慣などに課題が認められる。

※兵庫県教育委員会は「±5%の範囲内は、大きな差は見られない」としています。

結果から見える身に付いている力（○）と身に付けたい力（▲）

小学校 国語	○語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うこと。
	▲解答に必要な言葉や文を見つけて文章にまとめること。
	▲目的に応じて、文章と図表とを結びつけて必要な情報を見付けること。
小学校 算数	○棒グラフから数量を読み取ること。
	▲複数の図形が組み合わさった図形の面積の求め方などを、条件に従い文章でまとめること。
	▲帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴を記述すること。
中学校 国語	○文脈に即して漢字を正しく読むこと。
	▲文章を語句の使い方や段落相互の関係などに注意して、読みやすくわかりやすい文章にすること。
	▲文章中のものの見方や考え方を踏まえて、自分の考えを書くこと。
中学校 数学	○与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ること。
	○与えられたデータから中央値を求めること。
	▲ある条件下で起こることを数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。

結果から見える生活習慣や学習習慣など

全国と比較して、上回っている◎（＋6％以上）、やや上回っている○（＋5％以内）、同程度－（±0％）、やや下回っている△（－5％以内）、下回っている▲（－6％以下）となっています。

		小学校	中学校
生活習慣	朝食を毎日食べている。	○	－
	毎日同じくらいの時刻に起きている。	○	－
	テレビゲームやスマホのゲームをしている時間が1時間未満である。	△	△
学習習慣	家庭において、自分で計画を立てて勉強している。	△	△
	学校の授業以外で、1時間以上勉強している。	△	▲
	学校の授業以外で、30分以上読書をしている。	△	○
その他	人の役に立つ人間になりたいと思う。	○	○
	友達と協力するのは楽しい。	○	○
	今住んでいる地域の行事に参加している。	◎	◎

※ 全国的には、家庭学習が定着している子どもたちほど、正解した問題数が多い傾向があります。しかし、三木市の小学校、中学校ともに、家庭において自分で計画を立てて勉強したり、1時間以上勉強したりしている子どもの数が、全国と比較して下回っている傾向が見られます。学力を向上させるためには、自ら学習を計画し、実際に実行する力を身に付けるとともに、家庭学習を充実させることが大切です。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

- お子様のがんばりを認め、ほめて、自己肯定感（自分には良いところがあると思えること。）を育ててください。
- 学習が必要な理由を自覚させるため、将来の目標や進路について、お子様と一緒に考えてください。
- 「みっき子家庭学習ガイド」を参考に、早寝、早起きなどの規則正しい生活習慣を定着させ、学習に向かう姿勢や意欲につないでください。
- テレビやゲーム、メールやインターネットの利用時間や使い方について、家庭内でルールを作り、家庭での学習時間を確保してください。

教育委員会と学校のこれからの取組

三木市教育委員会と学校は、昨年度末から一人につき一台導入しているタブレット端末や、学びに向かう力の育成をめざして改訂した「みっきいすてっぷ」を活用し、引き続き、次のとおり具体的な取組を進めます。

学習習慣と生活習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・「みっきいすてっぷ」には、家庭学習の方法や、タブレットドリルで自分の理解度に応じた学習に取り組む方法を掲載しています。この「みっきいすてっぷ」を活用し、家庭においても学習する習慣が定着するよう指導します。 ・日々の教育活動の中で、時間を守り、学習の準備を整えるなど、子どもたちの学びに向かう姿勢の定着を図る取組を進めます。
指導方法の工夫と改善	<ul style="list-style-type: none"> ・「みっきいすてっぷ」やタブレットドリルなどを授業や補充学習等で活用することにより、個に応じた学習指導を充実します。 ・各校において、「読む」「書く」「話す」などの基本的な力の定着を図りつつ、異なる考え方を組み合わせながら、より深い学びを促す「協働的な学び」を行うなど、学力向上をめざした授業改善に取り組みます。
補充学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後の「ひょうごがんばり学びタイム」などの補充学習において、少人数できめ細やかな学習指導を行うことはもとより、個々の児童生徒の理解度に応じた学習支援の充実を図ります。